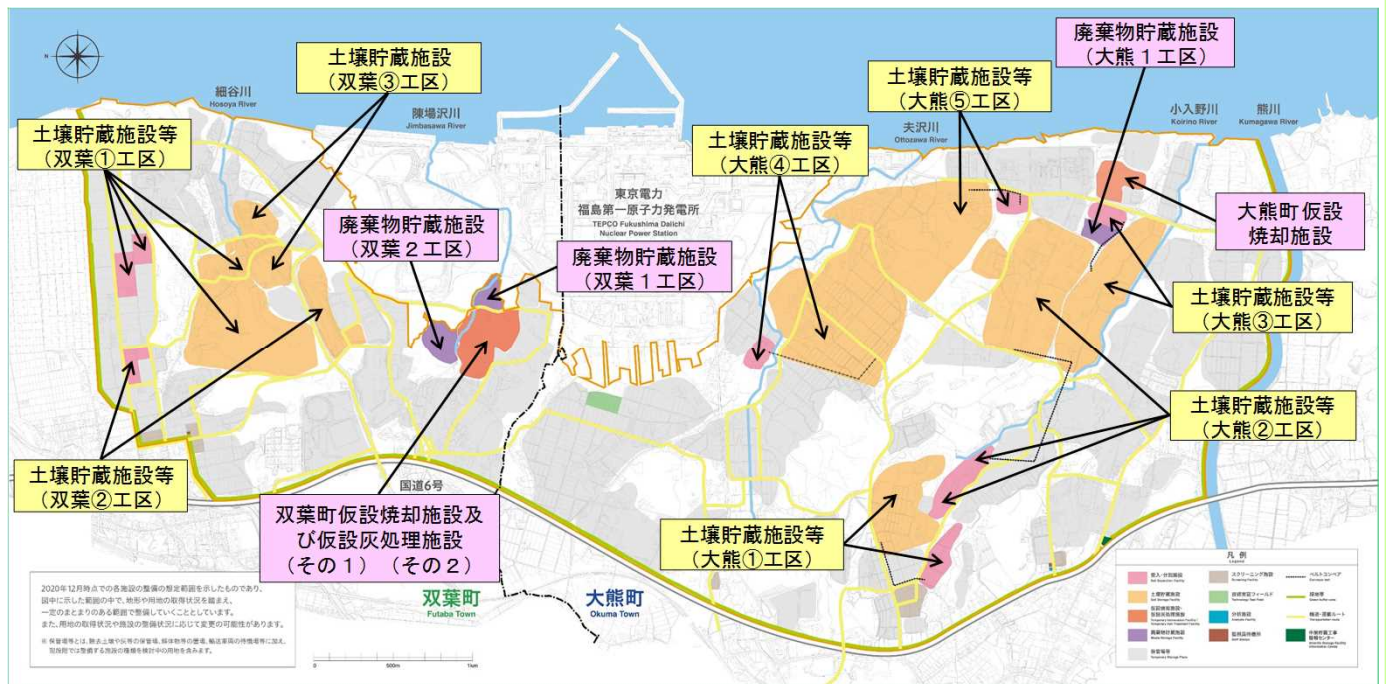


再生
福島

中間貯蔵施設の整備の現状

概要

- 放射線物質汚染対処特措法等に基づき、福島県内の除染に伴い発生した放射性物質を含む土壌・廃棄物及び福島県内に保管されている10万ベクレル/kgを超える焼却灰等を最終処分するまでの間、安全に集中的に管理・保管する施設として中間貯蔵施設を整備しています。
- 2016年11月に、大熊町・双葉町において、受入・分別施設、土壌貯蔵施設の整備に着手しました。
- 2017年6月に除去土壌等の分別処理を開始し、分別した土壌について、大熊町では2017年10月、双葉町では2017年12月から土壌貯蔵施設への貯蔵を開始しました。
- 2020年3月に、中間貯蔵施設における除去土壌と廃棄物の処理・貯蔵の全工程で運転を開始しました。



受入・分別施設及び土壌貯蔵施設の整備状況

2021年6月30日時点

・除去土壌の分別処理を行い、6月末時点で、約808.3万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。

| 工区 | 大熊①工区 | 大熊②工区 | 大熊③工区 | 大熊④工区 | 大熊⑤工区 | 双葉①工区 | 双葉②工区 | 双葉③工区 |
|---------------|--------------------|----------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|----------------------------|--------------------|--------------------|
| 受入・分別施設数※1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | - |
| 貯蔵容量※2 | 約100万 m^3 | 約330万 m^3 | 約210万 m^3 | 約160万 m^3 | 約200万 m^3 | 約140万 m^3 | 約90万 m^3 | 約80万 m^3 |
| 貯蔵量※2 | 88.4万 m^3 | 235.1万 m^3 | 106.3万 m^3 | 76.7万 m^3 | 140.0万 m^3 | 62.6万 m^3 | 69.2万 m^3 | 30.0万 m^3 |
| 着工 | 2017年9月着工 | 2016年11月着工 | 2017年11月着工 | 2018年10月着工 | 2018年10月着工 | 2016年11月着工 | 2018年1月着工 | 2018年9月着工 |
| 受入・分別施設スケジュール | 2018年7月運転開始 | 2017年8月 2018年7月 運転開始 | 2018年7月 運転開始 | 2019年8月 運転開始 | 2019年8月 運転開始 | 2017年6月 2018年9月 運転開始 | 2019年2月 運転開始 | (なし) |
| 土壌貯蔵施設スケジュール | 2018年7月 運転開始 | 2017年10月 運転開始 | 2018年10月 運転開始 | 2020年3月 運転開始 | 2019年4月 運転開始 | 2017年12月 運転開始 | 2019年5月 運転開始 | 2019年12月 運転開始 |
| 受注者 | 鹿島JV | 清水JV | 大林JV | 清水JV | 大林JV | 前田JV | 大成JV | 安藤・間JV |

大熊①工区



大熊②工区



大熊③工区



大熊④工区



大熊⑤工区



双葉①工区



双葉②工区



双葉③工区

(受入・分別施設は整備していない)



左の写真が受入・分別施設、右の写真が土壌貯蔵施設

※1 発注時の1施設当たりの処理能力は140t/時。双葉③工区は、受入・分別施設を整備していません。

※2 貯蔵容量及び貯蔵量は、仮置場等からの輸送量ベース（1袋 = 1 m^3 で換算）。貯蔵容量は、用地確保状況等により変更となる可能性があります。

仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の整備状況

2021年6月30日時点

・仮設焼却施設及び仮設灰処理施設で処理を行っています。

| 施設 | 大熊町 | 双葉町（その1） | 双葉町（その2） |
|----------------|--|---|--|
| 規模 | ・仮設焼却施設：200 t / 日 × 1 炉（ストーカ炉） | ・仮設焼却施設：150 t / 日 × 1 炉（シャフト炉） ・仮設灰処理施設：75 t / 日 × 2 炉（表面熔融炉） | ・仮設焼却施設：200 t / 日 × 1 炉（ストーカ炉） ・仮設灰処理施設：75 t / 日 × 2 炉（コークスベット式灰 熔融炉） |
| 敷地面積 | 約5.0ha | 約5.7ha | 約6.8ha |
| 着工 | 2016年7月伐採・造成開始 | 2018年6月伐採・造成開始 | 2018年6月伐採・造成開始 |
| 建設工事 スケジュール | 2016年12月開始 | 2019年1月開始 | 2019年1月開始 |
| 処理 スケジュール | 2018年2月処理開始 | 2020年3月処理開始 | 2020年3月処理開始 |
| 受注者 | 三菱・鹿島JV | 新日鉄・クボタ・大林組・TPT JV | JFE・前田JV |
| 外観 |  |  |  |

廃棄物貯蔵施設の整備状況

2021年6月30日時点

・6月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器6,729個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

| 工区 | 大熊1工区 | 双葉1工区 | 双葉2工区 |
|----------------|---|--|---|
| 主な建築構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造（2棟） | 鉄骨鉄筋コンクリート造（1棟） | 鉄骨鉄筋コンクリート造（1棟） |
| 貯蔵容量※ | 29,280個 | 14,678個 | 30,028個 |
| 貯蔵量※ | 2,763個 | 3,966個 | — |
| 敷地面積 | 約2.4ha | 約2.2ha | 約3.7ha |
| 着工 | 2018年7月 造成開始 2018年12月 建築開始 | 2018年6月 造成開始 2018年11月 建築開始 | 2019年12月 造成開始 2019年12月 建築開始 |
| 貯蔵スケジュール | 2020年4月貯蔵開始 | 2020年3月貯蔵開始 | 未定 |
| 施設整備受注者 | 鹿島建設 | 大林組 | 鹿島建設 |
| 定置・維持管理 受注者 | 鹿島建設 | | |
| 外観 |  |  |  |

※ 貯蔵容量及び貯蔵量は、鋼製角形容器（内寸 約1.3m(幅)×約1.3m(奥行)×約1.1m(高さ)）の個数。